

## ◆ 今週のコメント

- ・ 梅毒の報告が1例(50歳代男性)あり、症状は硬性下疳で推定感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は13例となっています。梅毒の感染経路や治療、予防等に関して「梅毒に関するQ&A」としてまとめられていますので、以下のホームページを御覧ください。

○厚生労働省「リーフレット「梅毒女子増加中！」」

[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/dl/leaf03.pdf](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/dl/leaf03.pdf)

○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」

[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html)

- ・ ヘルパンギーナの定点当たり報告数は1.21(51例)となり、前週の1.10(46例)からさらに増加しました。
- ・ 流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は0.76(32例)で依然として5年平均値を大きく上回る状況が続いています。

## ◆ 今週のトピックス: <梅毒>

- ・ 京都市の平成28年における梅毒の累積報告数は13例となり、一昨年(平成26年)の年間報告数11例を超えました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染

- ・ 二類: 結核 3例(肺結核 2例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 1例  
【1月以降の累積報告数 159例(肺結核 89例, その他結核 30例, 潜在性結核感染者 40例)うち喀痰塗抹陽性43例】
- ・ 五類: 梅毒1例(早期顕症梅毒1例)【1月以降の累積報告数 13例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.95	250
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.64	69
	③ ヘルパンギーナ	1.21	51
	④ 流行性耳下腺炎	0.76	32
	⑤ 手足口病	0.62	26
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

### 【次ページ以降の主な内容】

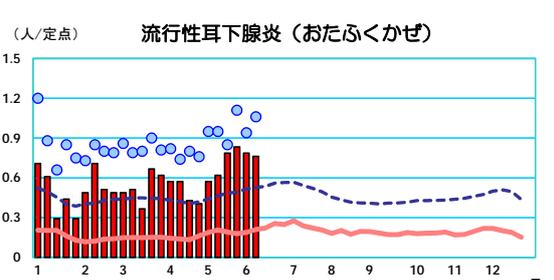
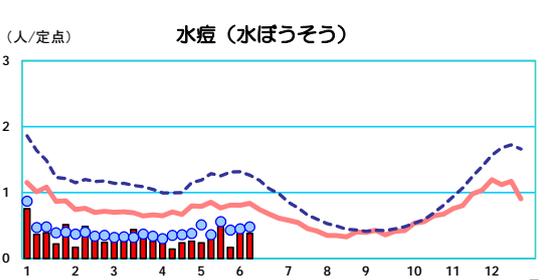
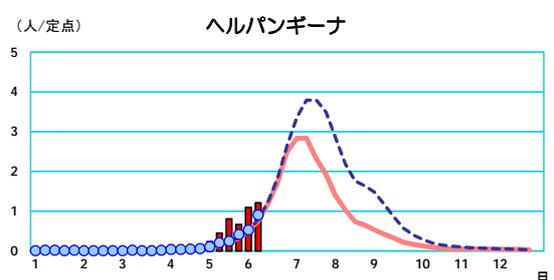
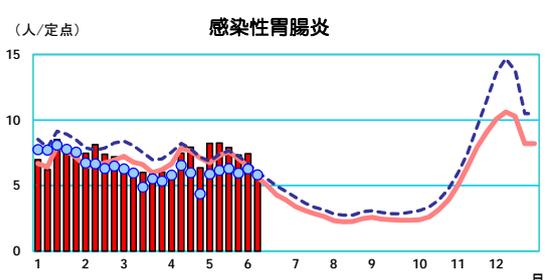
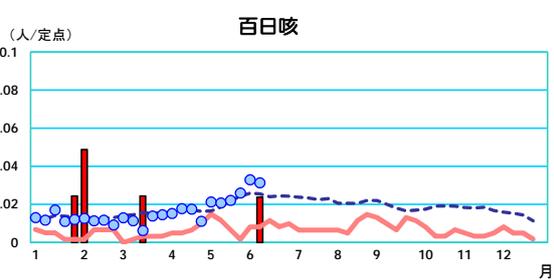
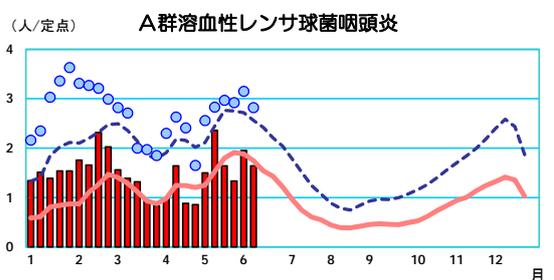
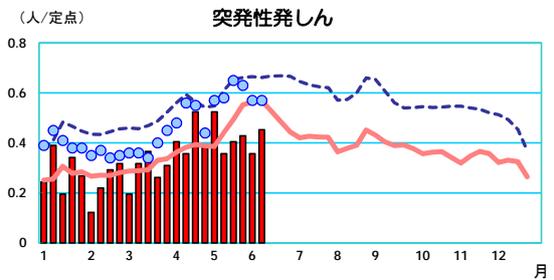
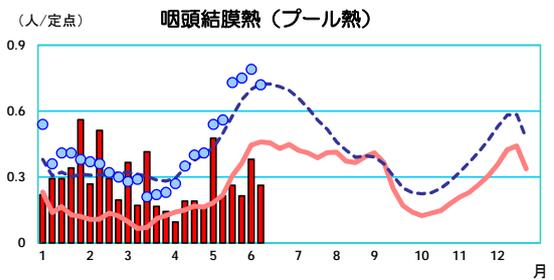
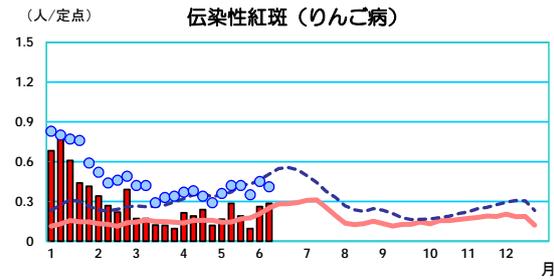
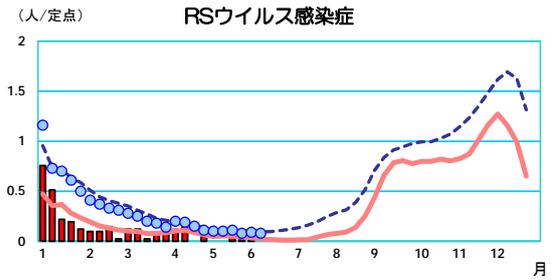
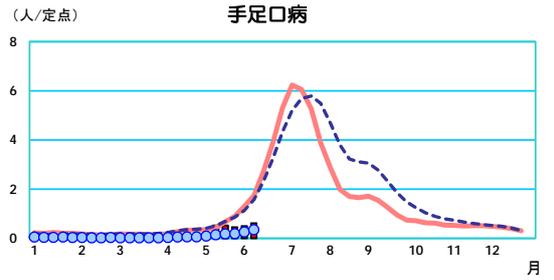
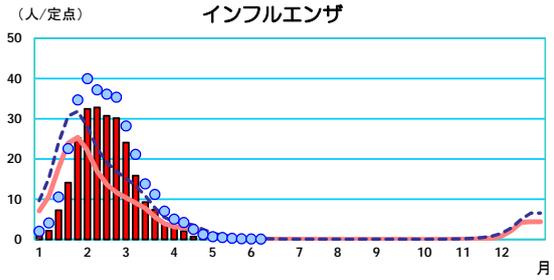
発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <梅毒>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成28年6月23日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）

■ 京都市\_本年      — 京都市\_過去5年平均値  
● 全国\_本年      - - - 全国\_過去5年平均値



## 第24週(6月13日～6月19日)トピックス: <梅毒>

### ■京都市及び全国の発生動向

京都市の平成28年における梅毒の累積報告数は13例となり、一昨年の年間報告数11例を超えました(図1)。梅毒の報告数は年々増えており、全国では平成27年までの過去5年間で男性はほぼ3倍、女性は5倍近くに増加しています(図1)。年齢別では京都市、全国ともに男女20歳代から40歳代が大半を占めており、京都市では20歳代女性の報告数が最も多くなっています(図2)。都道府県別で見ると、東京都が圧倒的に多く、その周辺や大阪府、愛知県など大都市圏で多く報告されています(図3)。梅毒急増の背景には、不特定多数との性行為による増加があると見られています。以前は男性間の性的接触で感染するケースが多かったのですが、近年は同性間だけでなく異性間での感染が広がっているため、女性の患者が増えていると考えられています。

### ■症状

梅毒は、梅毒トレポネーマという細菌による感染症です。感染者の患部に含まれる梅毒トレポネーマが、主に性的接触により粘膜や皮膚の小さな傷から侵入し感染します。初期症状では陰部、口唇、口腔内にしこりができますが、見逃してしまうことも多く、感染を自覚しないまま相手に移してしまい、蔓延の原因となります。女性感染者の大半が20歳代から40歳代であり、感染者が妊娠すると早産や死産、重い胎児異常をきたす恐れがあります。また男女を問わず晩期(感染後数年)まで梅毒を放置していると心臓、血管、脳など複数の臓器に病変が生じ、死に至ることもあります。

### ■予防

感染部位と粘膜や皮膚が直接接触をしないように、コンドームを使用しましょう。ただし、コンドームが覆わない部分でも感染がおこる可能性があります。皮膚や粘膜に異常があった場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

図1 全国及び京都市の報告数の推移



図2 全国及び京都市の性別、年齢階級別の報告数(平成27年)

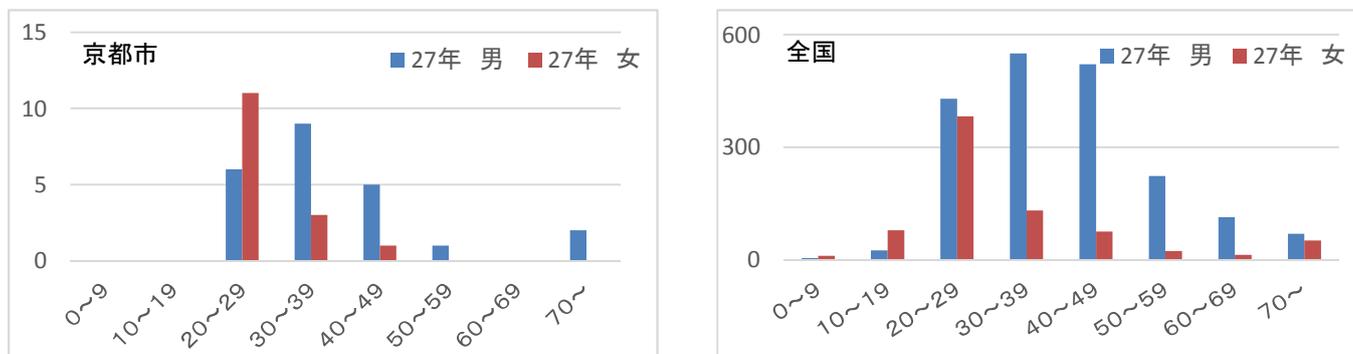
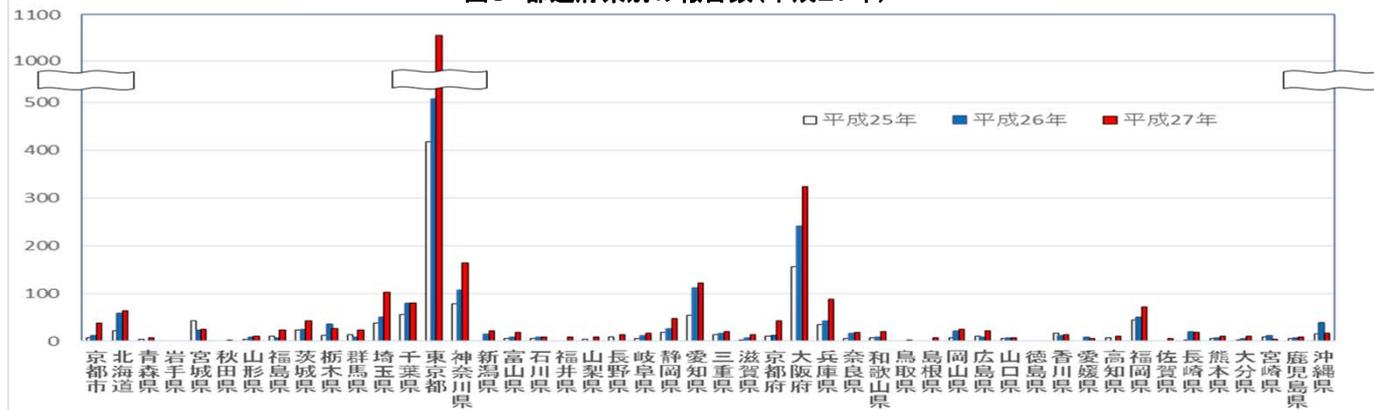


図3 都道府県別の報告数(平成27年)



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第24週

平成28年6月13日～平成28年6月19日

データ入手日:平成28年6月23日

疾病,行政区別報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	1	3	4	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	1	3	4	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	1	-	-	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	11	54	8	2	3	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	2	6	1	-	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	1	14	11	2	-	-	4	-	8	2	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
南	1	-	1	3	20	1	7	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	4	5	39	1	5	1	1	-	7	7	-	3	-	-	-	-	-
伏見	-	-	2	17	50	3	7	5	6	1	10	10	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	2	11	47	-	2	1	5	-	4	7	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	1	-	11	69	250	16	26	12	19	1	51	32	-	3	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	0.25	0.75	1.00	-	-	0.25	-	-	0.25	0.50	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	0.25	0.75	1.00	-	-	0.25	-	-	0.25	0.50	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	0.33	-	-	1.00	0.33	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	2.75	13.50	2.00	0.50	0.75	-	-	0.50	0.75	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	0.67	2.00	0.33	-	-	0.33	-	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	0.50	9.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	0.25	3.50	2.75	0.50	-	-	1.00	-	2.00	0.50	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
南	0.20	-	0.33	1.00	6.67	0.33	2.33	-	-	-	5.33	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	0.80	1.00	7.80	0.20	1.00	0.20	0.20	-	1.40	1.40	-	3.00	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.29	2.43	7.14	0.43	1.00	0.71	0.86	0.14	1.43	1.43	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.40	2.20	9.40	-	0.40	0.20	1.00	-	0.80	1.40	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.01	-	0.26	1.64	5.95	0.38	0.62	0.29	0.45	0.02	1.21	0.76	-	0.30	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第24週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年6月13日～平成28年6月19日

データ入手日:平成28年6月23日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		11	-	1	4	1	1	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		69	-	3	3	2	9	7	7	16	4	3	2	4	1	8	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		250	3	13	31	34	23	22	25	11	17	11	6	17	5	32	-	-	-	-	-	-
水痘		16	-	1	1	3	-	3	1	2	-	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	26	-	7	6	5	3	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		12	-	-	2	1	1	2	-	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		19	1	5	11	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		51	1	7	18	7	5	4	4	1	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		32	-	-	2	-	1	4	5	6	3	2	2	5	-	2	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.26	-	0.02	0.10	0.02	0.02	0.02	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.64	-	0.07	0.07	0.05	0.21	0.17	0.17	0.38	0.10	0.07	0.05	0.10	0.02	0.19	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.95	0.07	0.31	0.74	0.81	0.55	0.52	0.60	0.26	0.40	0.26	0.14	0.40	0.12	0.76	-	-	-	-	-	-
水痘		0.38	-	0.02	0.02	0.07	-	0.07	0.02	0.05	-	0.05	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.62	-	0.17	0.14	0.12	0.07	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.29	-	-	0.05	0.02	0.02	0.05	-	0.05	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.45	0.02	0.12	0.26	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1.21	0.02	0.17	0.43	0.17	0.12	0.10	0.10	0.02	0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.76	-	-	0.05	-	0.02	0.10	0.12	0.14	0.07	0.05	0.05	0.12	-	0.05	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.30	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	0.10	-	-	0.10	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第24週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年6月23日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	14	19	6	6	8	1
RSウイルス感染症	-	-	2	1	1	-
咽頭結膜熱	20	9	11	9	16	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	63	99	69	56	82	69
感染性胃腸炎	345	346	332	308	312	250
水痘	10	15	23	7	18	16
手足口病	9	22	22	19	21	26
伝染性紅斑	7	12	8	4	11	12
突発性発しん	22	15	17	18	15	19
百日咳	-	-	-	-	-	1
ヘルパンギーナ	10	19	34	28	46	51
流行性耳下腺炎	24	26	33	35	33	32
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	1	4	4	2	3
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	526	583	561	495	565	491

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	0.20	0.28	0.09	0.09	0.12	0.01
RSウイルス感染症	-	-	0.05	0.02	0.02	-
咽頭結膜熱	0.48	0.21	0.26	0.21	0.38	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	2.36	1.64	1.33	1.95	1.64
感染性胃腸炎	8.21	8.24	7.90	7.33	7.43	5.95
水痘	0.24	0.36	0.55	0.17	0.43	0.38
手足口病	0.21	0.52	0.52	0.45	0.50	0.62
伝染性紅斑	0.17	0.29	0.19	0.10	0.26	0.29
突発性発しん	0.52	0.36	0.40	0.43	0.36	0.45
百日咳	-	-	-	-	-	0.02
ヘルパンギーナ	0.24	0.45	0.81	0.67	1.10	1.21
流行性耳下腺炎	0.57	0.62	0.79	0.83	0.79	0.76
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.10	0.40	0.40	0.20	0.30
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	12.55	13.78	13.61	12.03	13.53	11.91

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。